

共同助成(兵庫県遊技業協同組合)

「盲ろう児理解と支援のネットワーク作り」事業

盲ろう児が成長していくために 理解と支援の拠点づくりを行う

目と耳に重複の障がいを持つ方を盲ろう児という。盲ろう福祉が制度化されていないこと、人数が少ないことなどから関係機関や一般に理解が進まず、盲ろう児を持つ家族は適切な支援がないまま、孤立する傾向にある。盲ろう児の家族・関係者が集まり、課題を話し合い、連携するための機会をつくろうと、兵庫県の団体が活動を開始した。



夏休みちびっこ盲ろう児体験教室を告知するチラシ



子どもたちが触手話、指点字などの盲ろう者のコミュニケーション方法を体験

盲ろう者の社会参加と自立のために 支援・啓蒙活動を続ける兵庫県の団体

目と耳に障がいを持つ人を「盲ろう者」という。かのヘレン・ケラーもその一人である。2012年の調査で、兵庫県内には約600名の盲ろう者がいると推定されている。その中で、生まれつき、もしくは言語を獲得する前に盲ろうとなった人は盲ろう児といい、中途から盲ろう者になった人以上に困難な状況に置かれている。盲ろう福祉が制度化されていないこと、人数が少ないことなどから、一般はもとより、関係機関の窓口の担当者ですら、その内実について理解していないのが現状である。盲ろう児を持つ家族は適切な支援もないまま過ごし、孤立しているケースが多い。盲ろう児の多くは知的障がい児の施設や学校を利用するが、見えて聴こえている知的障がい児と盲ろう児では本来、支援のあり方が違っていき、然るべきである。

盲ろう者の社会参加と自立のための支援、啓蒙活動を目的に、盲ろう者向け通訳・介助員派遣・養成・研修、生活訓練、相談・地域交流、兵庫盲ろう者支援センターの運営などの事業を行っているのが、NPO「ひょうご盲ろう者友の会」である。

同法人では、2018年度、AJOSCと兵庫県遊技業協同組合の助成を受け、盲ろう児の存在と支援の必要性を社会に広め、孤立しがちな盲ろう児を持つ家族の連携を図ることを目的に、夏休みちびっこ盲ろう児体験教室、盲ろう児・者研修会、兵庫県内51カ所の市町村窓口・社会福祉協議会・特別支援学校などの訪問、講演会を実施した。こうした活動を通じ、「盲ろう児支援の拠点づくりができた。孤立していた方々がひょうご盲ろう者支援センターを通じて、『一人ではない、仲間がいる』という気持ちを持つことができた」と、同法人では手応えを語る。

体験教室や研修会・講演会開催などで 盲ろう児に対する支援の輪を広げる

体験教室では最初、「盲ろう者とどうやってお話するの?」「目が見えない、耳が聞こえないのに、私の名前がどうしてわかるの?」と言っていた子どもたちが、触手話、指点字などの盲ろう者のコミュニケーション方法を体験したり、一緒に折り紙を楽しんだりすることで、盲ろう者は特別な人ではなく、自分たちと同じ人なのだと理解してもらった。

国立特別支援教育研究所上席総括研究員の星祐子さんを講師に招いた研修会では、「盲ろう児とは、盲ろう児のコミュニケーションとは」をテーマにお話があり相談会も行われた。「子どもの行動には理由がある。その理由を探ることが大切である」と教えていただいた。また、講演会では専門家である徳島県立徳島視覚支援学校教諭の長尾公美子さんを招き、「先天性盲ろう児者の生涯の学びを支える地域活動について」をテーマにお話をうかがった。活動を振り返り、同法人では「ひょうご盲ろう者支援セン

ターが盲ろう児の拠点であることを知っていただき、孤立している家族への支援が広がるように広報活動を続けたい。盲ろう児への理解が社会に広がっていないために支援者が戸惑い、家族との軋轢が生まれることも多い。適切な支援があれば、盲ろう児は大きく成長できる」と話す。活動に参加した方々の思いから、2019年度は月1回の集まりを開催することになり、兵庫県内だけでなく、他府県からの参加希望者も出ているという。拠点づくりに道が開けたことで、今後はこの拠点を通じて連携の輪を広げていきたいと同法人では話している。

兵庫県遊技業協同組合より

この活動によって盲ろう児やその家族のみなさんへの理解が広がることを願っております。今後も行政の支援が行き届かない団体を積極的に応援していきたいと思っております。



市町村窓口・社会福祉協議会・特別支援学校の関係者への学習会を実施



「盲ろう児とは、盲ろう児のコミュニケーションとは」をテーマとした講習会

助成団体:特定非営利活動法人 ひょうご盲ろう者友の会

<http://hyogo-db.com/>



盲ろう児の拠点づくりのスタートを切ることができました

今回、「盲ろう児」という数が少ないマイノリティの事業に対して支援をいただいたことに大変感謝しております。盲ろう児に対する福祉の遅れを実感していましたが、今回の助成をきっかけに、大きな仲間の輪ができました。今回の事業を活かし、より多くの盲ろう児と家族が地域で孤立することなく、将来の希望が持てるように支援を続けていきたいと思っております。

特定非営利活動法人 ひょうご盲ろう者友の会
理事長 今川 裕子さん